

先月、弊社の各部門管理者を連れて、上海市内施設やデイサービスなど、6施設の管理者や現地職員の方々と3日間に分けて、意見交換会を実施しました。

今回の目的は、弊社研修事業の内容強化です。現場や帳票類を見させて頂いた上での意見交換会



意見交換会の様子

から、更に需要を引き出すことが目的でした。そんな中、今日は皆さんに印象的だった内容を、幾つかご紹介致します。

まず介護に対する考え方について。ご利用者様のリスクを考えると、身体拘束は不可欠との考えのもと、実際に行っていました。これは、ご家族様の意向や賠償責任に対する観点からとのこと。また、「できることはご自身で」。これはご家族様からすると、仕事怠慢と取られるようです。

次に介護技術について。これといった継続性がある指導方法が無い為、個々の能力向上がで

## マイナス要因から需要掘む

きていない。  
マニュアルや日々の教育係も存在しないようです。

最後に体制

管理についてですが、驚くことに、1人が24時間体制で1室を担当するシフトが存在します。

当然そのほか幾つかのシフトパターンもあるので、職員は勿論、ご利用者様に与える影響や、リスクも容易に想像が付きまます。コスト削減が優先され、効果的な組織作りより目先の合理性にとらわれ、介護の質や継続性の部分を見落としていきます。

こういったやり取りをしながら、非常に有意義な会となりました。ちなみに今回ご紹介した内容は、目前のマイナス要因（研修課題）として特筆させて頂いております。そして、弊社はこれらのマイナス要因を深掘りし、真の需要を掘み、効果を出していくことに重点を置いて、日々奮闘しています。

ゲストハウス総経理

稲田義人



## 中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール

ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。